

9 (参考調査) 晩秋どりハウレンソウの品種特性調査

調査の目的

旭川青果物生産出荷協議会ほうれん草部会では、9月下旬に播種する晩秋どり作型で主に「トラッド7」を用いており、現状では品種変更を検討しなければならないような喫緊の課題は生じていません。しかし、平成28年度に道内の他産地でべと病の新レース発生が確認されたことから、市内での新レース発生時の備えとして、近年の新品種を中心にその特性を調査し、市内での栽培適性の把握を目的として調査を行いました。

関係先

旭川青果物生産出荷協議会ほうれん草部会、東神楽農業協同組合ほうれん草部会

供試品種

No.	名称・系統番号	販売元	べと病レース抵抗性(販売元カタログ等の表記による)															
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
1	トラッド7(標準)	サカタのタネ	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	—	●	—	●	—	●
2	ハンター(参考)	カネコ種苗	●	●	●	●	●	●	●	—	●	—	●	—	●	—	●	
3	スナイパー	カネコ種苗	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	—	●		
4	ゴードン	サカタのタネ	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●		
5	ドンキー	サカタのタネ	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	—	●		
6	福兵衛	タキイ種苗	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	—	●		
7	THS154	トーホク	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—		
8	タキシード7	ナント種苗	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—	—	—	—		
9	エスパーダ	日本農林社	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	—	●		
10	ステイシー	渡辺農事	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	—	—	—		

- ・「●」はレース抵抗性あり、「—」は抵抗性無し。
- ・記載順は標準品種を除き、販売元の50音順。
- ・市内の9月下旬播種で慣行の「トラッド7」を標準品種とし、9月上～中旬播種での主要品種「ハンター」も参考での比較対象とした。

耕種概要

- ・播種日および方法：9月20日播種、手播き、1穴2粒（発芽後に間引き）
- ・作型、反復数：雨よけハウス栽培、2反復
- ・栽植密度：条間20cm×株間6cm=8,333株/a

調査方法

(1) 調査項目

- ア 生育調査：発芽良否、生育の早晩、障害の発生状況、欠株率
- イ 収穫調査：収穫時の規格別株数割合、1aあたり規格内収量
- ウ 形質調査：草丈、葉数、平均一株重、草姿、葉色、作業性

(2) 評価指標

低温伸長性を含めた生育の早晩、収量性、作業性といった特性を重視して、総合的な評価を行いました。

主な結果

(1) 生育の早晩

- ・「トラッド7」「ステイシー」「福兵衛」が、早い生育でした。

- ・「ハンター」「ゴードン」「スナイパー」「タキシード7」が、ほぼ同等でした。
- ・「ドンキー」「THS154」「エスパダ」は、もう少し暖かい時期が向きそうです。

(2) 収量

- ・生育の早い品種は、収量が少ない結果でした。その中でも「ステイシー」はやや少なく、「トラッド7」と「福兵衛」は同等でした。
- ・「ゴードン」は、収量が多くなりました。

(3) その他

- ・「ゴードン」は参考比較品種の「ハンター」より一株重が重く、収穫および調製時の作業性も優れていました。
- ・「福兵衛」は標準品種の「トラッド7」より濃緑で葉に照りがあり、草姿は立性で作業性に優れていました。

表 調査結果一覧（一部抜粋）

生育の 早晚	名称	生育 日数 (日)	欠株 率 (%)	調製後 収量 (kg/a)	調製後 一株重 (g)	葉数			収穫時特性		
						摘葉 (枚)	残葉 (枚)	合計 (枚)	草姿 (指数)	葉色 (指数)	作業性 (指数)
早	トラッド7(標準)	39	5	103	12.4	2.9	6.7	9.6	1	1	3
	ステイシー	39	9	94	12.0	2.9	7.6	10.5	4	3	3
やや早	福兵衛	41	7	103	13.3	3.0	7.1	10.1	5	3	4
中間	ゴードン	45	1	138	16.4	3.7	9.0	12.7	3	2	5
	ハンター(参考)	46	1	126	15.4	3.8	8.9	12.7	3	3	4
	スナイパー	46	4	126	16.4	3.1	8.5	11.6	4	4	3
	タキシード7	46	7	91	12.4	3.7	8.3	12.0	5	3	4
やや遅	ドンキー	48	1	140	17.3	4.0	10.4	14.4	3	5	4
遅	THS154	50	8	118	15.8	3.4	9.7	13.1	3	4	2
	エスパダ	50	2	125	16.5	3.0	8.0	11.0	2	5	1

収穫期 収穫期 規格内株に 調製後一株重と葉数は部会M 5:立性 5:濃 5:易
までの における による調製後 規格株(草丈26cm以上~28cm ~ ~ ~
日数 する値 の1a収量 未満)での調査結果 1:開張性 1:淡 1:難

有望品種

(1) ゴードン（サカタのタネ）

9月上~中旬播種での利用が多い「ハンター」の代替として推奨します。収量性・作業性ともに優れ、生育の揃いが非常に良い品種です。べと病抵抗性は「ハンター」より幅広いレースに対応しています。課題は「ハンター」より葉色がやや淡いことです。「トラッド7」ほどの早生性は無いので、9月下旬以降の播種は、当面様子を見た方が良いでしょう。



(2) 福兵衛（タキイ種苗）

9月下旬以降播種の「トラッド7」の代替として検討する価値があります。収量性は「トラッド7」とほぼ同等ですが、作業性に優れ、葉色は濃く照りがあり、べと病抵抗性は幅広いレースに対応しています。なお、生育は早い方ですが「トラッド7」よりは若干遅れます。9月中旬以前の播種は、生育が進みすぎて株張りが充実しないおそれがあります。

